

助成金で「浄水器他防災備品の整備」を実施しました

地震などの災害時には、水道、電気、ガスなどの生活インフラが遮断され、生活用水の確保やトイレなど大きな影響が懸念されます。今回の整備により生活用水・トイレ・電気が確保でき、影響の軽減に大きく寄与できると考えますが、自らの安全は自ら守るために各家庭での対策が最も大切です。油断せず対策を進められるようお願いします。

生活用水の確保

風呂水・雨水・河川水等から
「安全・安心な飲料水」を作る



トイレの確保

マンホールトイレ 洋式
テント付き



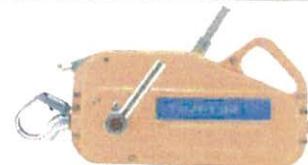
照明の確保

交流発電機



救出機器の整備

吊り上げ機器
ワインチチルホール



押し上げ機器
油圧ジャッキ(爪付き)



備えあれば憂いなし

非常用トイレ、家庭用消火器の共同購入

災害や火災に備えて防災用品をまとめて購入することを計画いたしました。
この機会を利用して是非各家庭に備えましょう。

地震⇒非常用トイレ

地震発生時に断水すると、トイレが使えず
たいへん困ります。

1人1日5袋程度の非常用トイレを備えて
おきましょう。



火災⇒家庭用消火器

通常の消火器より軽くて小さい「家庭用消火器」
やスプレータイプの「エアゾール式簡易消火器」
という器具も販売されています。特に高齢者の
おられる家庭ではこれらの器具を備えておかれ
ることをお薦めします。(消防庁HPから転載)

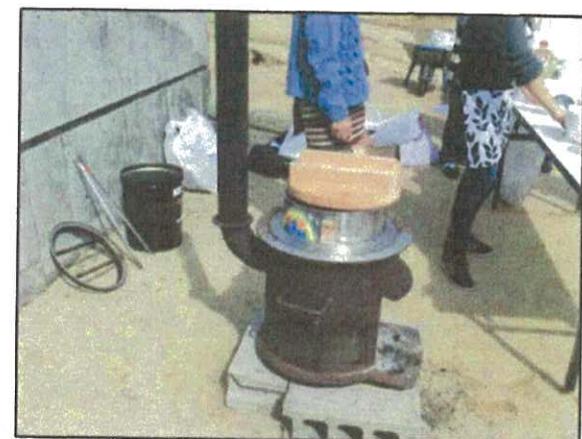
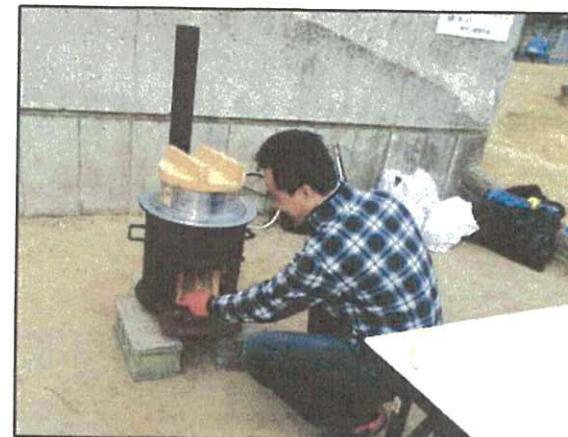


災害に備え

炊き出し訓練

で「豚汁」を作りました

一時避難所の公園で「炊き出し訓練」として都市ガスが使えないことを想定して、「かまど」で薪や炭を使用して「豚汁」を作り、みんなで試食しました。



「防災備品定期点検」の実施

自主防災会の防災委員が毎年2月頃に防災備品の定期点検を行い、動作確認と点検手入れを行い、チェンソーで丸太を切るなど実際に即した訓練をしています。



工具セット、消火器等



マンホールトイレ



発電機



折畳み車椅子



チェンソー



担架

H27年度

防災無線
横峯公園

防災無線
図書館

一時避難所への 避難訓練を行いました

- ・自宅で*身を守る行動(1分間)を実施した後、避難開始。
- ・当自治会の一時避難所まで各自が自主避難。
- ・参加者の安否確認。避難支援訓練。消火器使用訓練。
非常持出袋の中身紹介。防災機器の使用訓練。

○いざ災害が発生しても、平常時に訓練したこと以上の行動は出来ないと言われています。

○今年度は、一時避難所まで避難する訓練を行い、多くの方に参加を頂き、家族で災害発生時の対応を考える契機になりました。

*身を守る行動とは



H28年度 小学校校区の全住民を対象に

避難訓練を行いました

訓練 地震発生

各自が避難

一時避難場所に避難

集団で避難

避難所に避難

訓練開始
各家庭でシェイクアウト実施
各自で一時避難所に避難

まちひくく あたまをまもり うごかない

自主防災会が安否確認
防災会が誘導して全員で避難所に避難

避難所入所手続き
A E D 使用の体験
はしご車による救出訓練
消防署による煙体験、炊出し訓練

